

第 15 回定例教育委員会 会議結果

開催月日 令和2年2月12日（水）

開催時間 午後 2 時 30 分から午後 5 時 15 分まで

開催場所 教育委員会室

出席委員 教育長 市川 満
教育長職務代理者 武者 稚枝子
教育長職務代理者 三塚 憲二
委員 佐藤 喜美子、岡部 和子

出席職員 教育次長 斉木 邦彦
教育監 青柳 達也
学力向上対策監 初鹿野 仁
次長（総務課長） 小田切三男
福利給与課長 小尾 一仁
学校施設課長 後藤 宏
義務教育課長 中込 司
高校教育課長 廣瀬 浩次
高校改革・特別支援教育課長 本田 晴彦
社会教育課長 保坂 哲也
スポーツ健康課長 丸山 正雄
学術文化財課長 村松 久
総務課総括課長補佐 小泉 治明
総務課課長補佐 小林 宏行
総務課課長補佐 入倉 俊幸
総務課副主査 渡邊 勲

総務課
副主幹 川崎 健司
主査 日向 かつ美
主任 廣野 陽飛
義務教育課
人事管理監 市川 敏也
主事 吉野 敦史
高校教育課
主幹・指導主事 小林 太郎
社会教育課
総括課長補佐 望月 勝一

県民生活部生涯学習文化課
課長 酒井 明美
総括課長補佐 山本 信一
課長補佐 越石 英行
主査 河野 敏三

傍聴人 1 名

報道 2 名

会議要旨

〔 教育長開会宣言 〕

議案第48号、49号、議案第51号から53号、議案第56号から58号、その他報告34
「県議会に提出する予定案件について」および議案第50号「知事の権限に属する事務の委任及び補助執行することの協議について」、については今後知事または議会など関係機関との協議等を必要とする事項であるため非公開としたい旨が教育長から発言され、出席委員全員が了承のうえ非公開とした。

- 議案
第48号 県議会に提出する予定案件について
〔説明〕 総務課
(非公開)
【原案どおり決定】

- 第 49 号 県議会に提出する予定案件について
〔説明〕 総務課
(非公開)
【原案どおり決定】
- 第 50 号 知事の権限に属する事務の委任事務の変更について
〔説明〕 総務課
(非公開)
【原案どおり決定】
- 第 51 号 県議会に提出する予定案件について
〔説明〕 総務課
(非公開)
【原案どおり決定】
- 第 52 号 県議会に提出する予定案件について
〔説明〕 総務課
(非公開)
【原案どおり決定】
- 第 53 号 県議会に提出する予定案件について
〔説明〕 総務課
(非公開)
【原案どおり決定】
- 第 54 号 職員の処分について
〔説明〕 総務課
(非公開)
【原案どおり決定】
- 第 55 号 教育委員会の活動状況報告書について
〔説明〕 総務課
【原案どおり決定】
- 第 56 号 県議会に提出する予定案件について
〔説明〕 義務教育課・高校教育課
(非公開)
【原案どおり決定】
- 第 57 号 県議会に提出する予定案件について
〔説明〕 義務教育課
(非公開)
【原案どおり決定】
- 第 58 号 県議会に提出する予定案件について
〔説明〕 高校教育課
(非公開)
【原案どおり決定】

2 報告事項

- (11) 指導が不適切な教員について
(非公開)
〔説明〕 義務教育課・高校教育課
【了知】

(12) いじめ重大事態に係る第三者を含む調査委員会の報告について

(非公開)

〔説明〕 高校教育課

【 了 知 】

3 その他報告

(32) 「新やまなしの教育振興プラン」の目標となる指標の達成状況について

〔説明〕 総務課

- 三 塚 委 員 引き継がない9項目をもう一度説明してもらいたい。ペーパーレス化になったから外れたという説明。ちょっと分からないところがあるので、分かりやすくお願いしたい。
- 小田切課長 もうちょっと具体的に。伝統文化の関係の教材で、「山梨に生きる」という教材があった。その活用状況をアンケート調査をしているが、それで何パーセントの人たちが活用しているというアンケートになっているが、この「山梨に生きる」という教材が冊子ではあったんですが、今度それがデジタル教材になってしまっているということで、目標値から落とした。
- 三 塚 委 員 そういうことであれば、承知した。
- 佐 藤 委 員 芸文祭の生徒の参加率、数でやっているが、率からしても減少か。
- 渡邊副主査 率からと言うと、当初の目標率を急降下をさせているわけではないので、単なる数字だけで追うというのが現実とは合わなくなった。
- 武 者 委 員 今回の内容で100パーセント未満だった項目が多いのが基本方針の4と5。山梨スポーツの創出とか、特別支援教育の充実に向けた取り組みだが、この進捗率の低いものとして専門教員の研修参加数が目標値に至らなかった、そんなことも関係しているのか。特に特別支援教育、ここかなり喫緊の課題かと思うが。
- 渡邊副主査 特別支援に関しては、個別教育支援計画を定めること自体が法定項目になってきているので、新計画からは除いている。特別支援の必要性が高まったことで法定の計画となって今後しっかりした進捗管理をしていかなければならないものであるので、新計画の中にはしっかりと記載しているが、あえて項目指標を設けなかったもので、課題としては認識しているところ。
- 市川教育長 4と5が低いのが多い、100パーセント未満というのが。それが専門教員の研修参加者数の減というのが、特別支援に関する項目で未達成が多いというところに関連しているのかということをお尋ねだったかと。
- 武 者 委 員 今の回答も聞きたかったこと。研修受講率も関係あるのかということと、こういった顕著に結果が現れて、基本方針1とか、素晴らしいところもあるんだが、4と5という項目が明らかに100パーセント未満というのが多い項目だったということなので、ぜひこういったところに力を入れてやると、検討する時に非常にいい結果が出るんじゃないかなんていうふうに思う。もう一つ、朝食の摂取状況に関して、女子というのがやっぱり満たさない。これは患者さんを見ていると朝起きれなくて食べられないという方が多い。その原因としては、朝、糖質、炭水化物の摂り過ぎとか、貧血などによって、朝だるくて起きられないというお子さんが多い。貧血は日本人に多いんだが、特に山梨の中学生、高校生は非常に多い印象を持つ。また、ヘモグロビンA1cとか、糖が最近、家族歴のない中学生、高校生でも非常に高い。なので、ただ女子中学生が朝食を摂らないから食べましょうではなくて、その背景にあるものが何かというところを検討していただければと思う。
- 市川教育長 まず資料の2というものの説明を。引き続いているものと、違うものの説明を。
- 小田切課長 資料1と資料2を配布しているが、資料1は、今回の検証している旧プランの達成状況。資料2は、新計画の目標値を記載しているもの。

- 市川教育長 武者委員が指摘した朝食の摂取率というところについても、引き続き新計画の指標で載せて管理して行くということで良いのか。
- 小田切課長 そのとおり。朝食については、今後もしっかりとした朝食が摂れるような評価の中で指標を設けて進捗管理をしていく。その際に武者委員がの指摘の部分についても参考にさせていただきながら、こういった手法で朝食率の向上に向けて取り組んでいくかというのは、また新しい指標をその都度、その都度毎年点検、評価していく中で現場のほうで働き掛けて向上を図っていった
- 市川教育長 資料2の3ページ一番下の特別支援に関する研修。これもまた残して引き続きやっていくということ。
- 佐藤委員 特別支援教育に関する専門的な研修を受けたいという気持ちは、すごくあるんだと思う。ただ、現実としてそういう研修が受けられない状況にあるという声をよく聞くので、ぜひ県として背景を確認し、なぜ研修が受けられないのかというところに少し手厚く見ていただきたい。
- 本田課長 どのような事情で受け入れないのか確認させていただきたいと思う。
- 三塚委員 目標値を引き続きというのは、目標値はそのままということ。同じ目標値で設定しているという解釈でいいのか。
- 渡邊副主査 数字自体を変えているところもある。
- 三塚委員 前計画を開始した26年と今の状況は変わっているから、現状に即した目標値をまた再設定しているものもあるという解釈で良いか。
- 渡邊副主査 そのとおりである。
- 市川教育長 基本は現状に即して見直していくということ。
- 岡部委員 朝食を食べないということについて、新計画には養護教員の研修、特に栄養士とか養護教諭とかもあるとは思いますが、この点については、やはり家庭教育が一番なので、学校からのお便りとか、あるいは絶えず保健便りとかでお知らせする必要性についても、学校にぜひお知らせいただければと思う。
- 市川教育長 スポーツ健康課のほうでも取り組みしている。
- 丸山課長 食育の観点もあり、まず生活習慣を整えていく、そういった取り組みを栄養教諭や養護教諭も踏まえて、保健の中でやらせていただいている。そういった取り組みがうまく実を結んで行ければと思っているところ。
- 市川教育長 家庭向けの簡単レシピを作ったことについて、説明を。
- 丸山課長 今年、朝食が摂りやすいようにということで、簡単レシピというのを作らせていただいた。そしてホームページに掲載し、学校に対しても情報提供をさせていただいた。またメニューを検討して違うものを載せたりということも今後考えているところ。

【 了 知 】

(33) 山梨県文化芸術推進基本計画（仮称）について

〔説明〕 生涯学習文化課

- 三塚委員 パブコメがもう今日までなので、そのパブコメがどのくらい来ていて、どんなことがあってとか、その状況をちょっとお伺いしたいのと。それからこういった基本計画は分かったんだけど、例えば山梨県以外の所にこれをどういうふうな発信をしていくのかどの様に考えているのか教えてもらいたい。

- 酒井課長 パブリックコメントの現状は、本日時点までに2件の意見が提出されている。その意見への対応については、今後意見の内容を踏まえる中で検討することとしており、計画策定3月までにその対応を公開する予定。
- 三塚委員 内容は今把握していないのか。
- 酒井課長 内容は把握している。計画についてはどちらかと言うと賛成をする意見が1件。
- 三塚委員 具体的にはどんな意見なのか。
- 市川教育長 要するにパブコメの場合は意見と対応というのがまとまった段階で公開するということになっているため、現段階ではまだお話しができないということ。
- 三塚委員 そういうことか。まだ言えないということ。
- 酒井課長 詳しいことがお答えできなくて申し訳ない。
- 三塚委員 県外への発信の仕方について、活力を目指すには当然対外的にも発信して、どんどん人を集めていくことが必要。それについてはどんなふう考えているのか。
- 酒井課長 今はSNS、インターネットを使った広報が有効になってきているので、SNSを活用した情報発信や、また紙媒体でも内容によっては各都道府県あてに周知を図っていったりする広報も必要かと思っている。
- 三塚委員 計画としては、インターネットは分かったけれども、どんなふうな形でやっていくということは、まだそこまでは具体的には詰めてないということか。
- 酒井課長 各事業の内容によって周知方法の効果がある方法があると思うので、その各事業を取り進む中で広報の方法も検討していきたいと思う。
- 市川教育長 これは施策、基本方針の1の(3)というところが、いま三塚委員がお尋ねの部分に該当すると言うことで良いか。
- 酒井課長 「ホームページ等を活用した情報発信や」と言うところ。
- 三塚委員 今までいろんなことをやって、ホームページでいろんなことを発信しているんだけど、余り費用対効果がないというのが現状である。だから何らかまた違う、例えばホームページ以外の、ICTを使ってと言っているのであれば、違う方法がいっぱいある。そういったことを考えるという手段はないのだろうか。
- 酒井課長 事業を実施する中で委員のご意見を踏まえて、効果的な広報活動をしていきたい。
- 三塚委員 今まで教育委員会の中でそういった対外的な話をホームページを活用すると。でもそれが費用対効果ははっきりいってないと思っていて、いつも話題になっていることなので、やっぱり違う方法をちょっと考えていかないと広がりには全く望めないなというふうに思っているの、ぜひ検討いただければと思う。
- 岡部委員 基本方針の1の地域づくりの考えなんですけど、県民文化祭について、実行委員を立ち上げた段階から、もっとうまく県民に周知すればいいと思う。観客席に人がいない。あんなに大きな所を使用しても自分たちしかいない。それはやはり、そのためにメディアを通じて新聞紙上に載せてもらおう公報を県がやっているけれども、それだけ少ないというのは、地域づくりに県民を参画させていくためにもっと実行委員会で考えて行かなければならないと思う。

酒井課長 承知した。

岡部委員 それから障害者のイベントも同じことです。すごくご苦労して、月に1回練習をしている。もう涙が出るぐらいのものをやったださるけど、でもやはり観客席はご自分たちの関係者だけとなるので、チラシを公民館とか、そういう所に置いてはあるんだけど、情報をもっと発信していただきたい。

酒井課長 承知した。

武者委員 子どもが少なくなって、各地域にある伝統的な文化やお祭り・御神輿というのが途絶えつつある。そういう所は、山梨県内多いと思う。ぜひ県でどういったお祭りがあるのかでもいいんだけど、お祭りを一覽で周知すれば、御神輿を担ぎたいとか、ほかの都道府県にも担ぎたい人たちというのは結構いると聞くので、そんなふうな情報をオープンにしてぜひ山梨の伝統文化というのを、高齢者しかいなかったりして、どんどん途絶えてしまわないように、その地域だけではなく、ほかを巻き込むような取り組みをしていただきたい。あと、山梨県には、縄文文化とか釈迦堂遺跡とかある。なので、縄文女子なんていうのも今人気なので、そういったところを大きい所でやったり、あるいはシルクロードと言って大月なんかも昔から八王子から絹で繋がっていて、そういうインパクトある言葉で、シルクロードを辿ろうみたいな形でできればいいと思う。なかなか授業の中で取り入れるのは難しいとは思うんだが、子どもたちがまずそういったお祭りが実際あるだとか、こういう文化があるんだというのを知るのも大事だし、あと大人たちもそういう昔の、なかなか全部文化施設、文化財にするのも難しいかもしれないが、地元にいると分からないような一番上の部屋はお蚕さんを育てていた所だなんていう、子どもたち、あるいは県外の人たち、今の人たちから見るとすごく興味があるものを活用できないだろうか。馬が土間の横で一緒にいる場所があったとか、そういったことってその地域の人、おじいさん、おばあさんからすると当たり前過ぎて、ちっともそういう魅力を感じないかもしれないが、意外にそういうのって大事なので、ぜひそういった空き家になっていたりとか、そういうのを県で発掘したりしていただけるといいと思う。

市川教育長 この中でアーティスト・イン・レジデンスというのがあるけど、これ大変面白い取り組みで、外国の方に来てもらって、まさに芸術家の方が山梨の芸術をまた広めて発信してもらえればいいというもので、これは面白い企画。

岡部委員 今年も信玄公祭りでフランスの人が出たりとか、本当にああいうものに出て、海外の方たちに広めて、すごく賑やかなんだけど、ただ鎧を着て、歩いているだけかもしれないけど、すごく発信力が強いので、またそういう意味で情報を発信していただきたい。

【 了 知 】

(34) 県議会に提出する予定案件について

(非公開)

[説明] 社会教育課

[教育長閉会宣言]

以 上